

ベトナム Ex.04 報告書



目次

◆ 団長挨拶……p.2

◆ Ex.概要……p.4

目的

開催地

協力団体

◆ 参加者一覧……p.5

◆ 事前勉強会報告……p.7

◆ 日程及び構成……p.9

◆ 日別報告……p.10

◆ フリーテーマエッセイ……p.15

◆ 持ち物……p.18

団長挨拶

名古屋支部 三回生
中井 彩加

この度、ベトナム Ex.04 で団長を務めさせて頂きました、名古屋支部三回生の中井彩加です。今年度も4回目となるベトナム Ex.が開催でき、無事終了したことをここに報告させて頂きます。

今回の参加者は25名で、多くの会員が参加しましたが私を含め全員が初めてのベトナム Ex.でした。時期的にも当時3回生の参加は難しいため、当時4回生二人、大多数が2回生、1回生での参加でした。そのため、個々の繋がりはあるものの全体で親交を深めるのは難しく、招集会では名前を覚えるので必死なくらいでした。経験者もいなかったため、不安も正直ありましたが現地に着いてしまえば部屋同士、文化紹介班を通して会員同士も仲良くなることができ、帰国時は日本人同士も別れを惜しむくらいであったので、団長として大変嬉しく思います。

今年度のベトナム Ex.はダナン外国語大学日本語学科の学生が主に私たちを案内してくれました。開催時期である3月上旬は上回生がテストのため、ほとんどが1回生でした。彼女らはまだ日本語を専門的に勉強し始めて6ヶ月です。にもかかわらず一緒に観光や海岸活動、パーティーなど積極的に参加して私達と交流してくれました。その交流の感想は山ほどありますがここでは別の参加者に託したいと思います。そのほかにもダナン工科大、外語大の卒業生も駆けつけてくれたため、多くのベトナム人と交流することができました。

さて、団長が決まったのは結団式の前日でした。03に参加した先輩や同回生が多くいたため、行きたい気持ちが強く、いくなら責任ある立場で色々学んで帰りたいと思い受けました。01の報告書にもありましたが、団長は想像をはるかに超える大変さがありました。渡航ギリギリまで変動するスケジュール、現地に行っても変動するスケジュール、朝の6時から詰め込まれるコンテンツにはついて行くのに必死で、次々と言われる伝達事項や次の予定をまとめるのに精一杯でした。日本とは違う時間感覚に私を含めみんな困惑しましたが、その裏にはゆったりと交流の時間を楽しむベトナム独自の時間の過ごし方やより楽しんでもらいたいとベストを常にコンスタントに提案してくれるオーガナイザー、タンさんの思いがありました。そのため、去年の三倍である合計9校の小中学校訪問、アオザイの体験、世界遺産フエ観光、日本料理企画など充実した体験ができました。特に、小中学校の訪問ではワクワクした目で日本の文化紹介を見て、無邪気に楽しんで体験してくれる子供たちの姿に日本人参加者もやりがいを感じる事ができました。

私たちの訪れたベトナム・ダナンは建設ラッシュのホテル、ビル、観光客に溢れており、夜も灯りが絶えませんでした。一見発展しているように見えたが、現地の学生と話し

っていると家ごとの格差もあり日本は高いからお金がなくて行けないという声をよく聞きました。豪邸に住んでいる学生もいれば、狭い部屋でルームシェアをしている学生、田舎から通う学生もいました。ベトナムには日本企業も多く進出しており、日本語が喋れるのは就職で有利です。次年度から小学校 4 年生から日本語が必修になるそうです。日本に留学経験もあるタンさんは日本語の教科書を製作、無償で配布し、今度できる新しいホテルには無料の日本語教室を開くそうです。タンさんはそんなベトナムの現状を日本人の私たちにも知ってほしいと言っていました。日本語を学びたくても日本に行けない学生がこんなにもいると思うと容易く日本においてと言えなくて、私自身もとても心が痛みました。私たちがベトナムで過ごした一週間は私たちが思っている以上の社会的な影響があるかもしれません。このように、遊びだけでなく、学び、気づきのあるベトナム Ex.は満足度間違いなしのプログラムです。今後も続いて行くことを願っております。

Ex.概要

◆ 目的

- ・ベトナムの学生など、現地の人々との交流を通してお互いの文化への理解を深める
- ・日本の文化紹介の授業を、現地の小学生や中学生に行うことで、日本や日本文化の魅力を知ってもらう

◆ 開催地

- ・ダナン（ベトナム中部）

◆ 協力団体

- ・ワンダナホテル
- ・リエンチェウ区の小中学校
- ・ダナン工科大学
- ・ソンチャ区の中学校
- ・ダナン外国語大学日本語クラブ

参加者一覧 （計 25名）

名前	大学	学年	役職
名古屋支部			
市川 早紀	南山	2	勉強会
大川 七海	南山	2	国際渉外
金森 穂香	南山	2	文化紹介
中井 彩加	南山	2	団長
中村 知里	南山	2	副団長
成田 彩夏	南山	2	国際渉外
新井 瑞季	南山	1	文化紹介
石橋 みんと	南山	1	文化紹介
京都支部			
原田 紗英	京都女子	2	文化紹介
大阪支部			
井田 萌子	関西	2	報告書
駒田 華穂	関西	2	広報
乾 友紀	関西	1	広報
川嶋 ふみ枝	関西	1	広報
田中 徹平	関西	1	勉強会
神戸支部			
足立 桃子	甲南	4	勉強会
星野 美和	甲南	4	勉強会
小林 由奈	甲南	2	勉強会
森本 萌里	関西学院	2	勉強会
山田 彩世	関西学院	2	勉強会
大野 朝音	甲南	1	文化紹介
前田 瑚春	甲南	1	文化紹介

岡山支部			
パウエル井上潤	岡山	2	副団長
工藤 智恵	清心女子	1	文化紹介
森本 涼子	清心女子	1	報告書
吉田 有花	清心女子	1	報告書



事前勉強会報告

〈日時〉 2月16日～2月17日

〈場所〉 平生記念セミナーハウス

〈タイムスケジュール〉

2月16日（1日目）

14：00 平生セミナーハウス集合
14：30 自己紹介、アイスブレイク
15：00 ベトナムについて班ごとに発表
16：00 10分休憩
16：10 ダンス練習
17：30 文化紹介（前半）
19：00 フリータイム（各自夕食）

2月17日（2日目）

各自10時までに朝食を済ませる
10：00 ダンス練習
11：00 10分休憩
11：15 文化紹介（後半）
12：45 終了
13：00 解散

〈各班の発表内容〉

南山1班：基本情報とベトナム語

南山2班：ごはん

南山3班：歴史と日本のつながり

関学4班：マナーとお金

関大5班：観光地①

関大6班：観光地②

甲南7班：気候と服装、ベトナムのファストファッション

京都岡山：ベトナム人の一日の暮らし

上記のスケジュールで事前勉強会を行いました。ベトナムに関する知識を身に付けたり、文化紹介について話し合ったりしました。事前勉強会1日目は、支部や大学で分かれた班ごとに、事前に決めていたテーマについて発表しました。各班5分程度、PowerPointを使った発表でした。社交ダンスと文化紹介でのダンスの練習時間に多くの時間を費やしました。ベトナムEx.本番では残念ながら社交ダンスはしませんでした。ほとんどの人が未経験者であったため良い経験になったのではないのでしょうか。文化紹介でのダンスは、踊りやすく、小さい子どもたちにも楽しんでもらえるのではないかという意見により「マル・マル・モリ・モリ！」に決まりました。ベトナムEx.のメンバーが集まるのは結団式以来でしたが、事前勉強会は1泊2日ということもあり、少しは仲を深めることができたと思います。

日程および構成

日付	内容
3月1日	ダナン到着、ホテル周辺観光
3月2日 (1日目)	現地の大学生と合流、ショッピングモールや海へ 民族衣装のアオザイ作り(希望者のみ)
3月3日 (2日目)	ダナン工科大学訪問(日本文化紹介、運動会) ウェルカムパーティー
3月4日 (3日目)	ビーチで運動会、ノンラー作り
3月5日 (4日目)	小中学校訪問(日本文化紹介、ダンス披露)
3月6日 (5日目)	小中学校訪問(日本文化紹介、ダンス披露) ホームステイ
3月7日 (6日目)	ホームステイのペアで自由行動
3月8日 (7日目)	フェ観光、女性の日の花渡し フェアウェルパーティー
3月9日	日本へ



日別報告

3月2日（1日目）

3月2日はまだメンバー全員がそろってないため自由活動でした。午前中はベトナムの学生が近くのショッピングモールに連れてってくれました。ホテルから20分ほど歩いたところにあり日本の大きなショッピングモールとかわらない広さとお店の数でした。また行くまでの道は安全ではなく道路の端を歩いたりホテル建設工



事がされていたりしてこれから発展していく様子がみえました。ベトナムの学生たちはコーヒー屋さんにも連れてってくれました。ベトナムコーヒーは有名でコーヒーが苦手な私でもおいしいと思うくらいです。30人くらいの飲み物をいっきに注文したため店員さんは大変そうでした。しばらくの間談笑し、そのあとスーパーにいきました。ベトナムのスーパーでは万引き防止のために入口で警備員さんにカバンの中身をチェック、店の中でカバンを開けられないようにベルトで絞められ、日本にはない制度に戸惑っている子も多かったです。ベトナムの物価は安いのでTシャツやサンダルを買っている子が多かったです。そのあとホテルに帰り、昼食をとり夕方に海へいきました。まだその日は暑くなかったので海に入ることなくみんなでたくさん写真を撮りました。ベトナムの学生はとても元気で気さくで私たちはとても仲良くなりました。最後に集合写真を撮ろうと近くのベトナムの方に声をかけたら、なぜかその人たちも写真に写りたいみたいで最後にはみんなで写真を撮りました笑。夜にはメンバー全員がそろいこれからのEx活動に楽しみを抱いてその日は就寝しました。（神戸支部 小林由奈）

3月3日（2日目）

この日は、ダナン工科大学を訪れました。ベトナムに来て初めての学校訪問で、現地の学校のイメージが全く沸きませんでした。大学内はとても広くて学生で賑わっており、日本の大学と似ているなと感じました。早速、私たちはある教室に案内され、そこで各グループで作ったスライドを使って日本の文化を紹介しました。その後、ダナン工科大学の学生がダンスや歌などを披露してくれました。そして校内を見



学し、食堂で昼食をとってから、体育館に移動し、現地の学生と一緒に運動会をしました。

運動会では、ベトナムの学校の運動会で定番の種目で競いました。写真にもあるように、前の人の体を足で挟んで、みんなの手の力だけで進んでいく種目は、簡単そうに見えますが、実際にやってみると全身の筋肉を使うので、終わった時にはみんなヘトヘトでした。次の日には筋肉痛になる人も多発しました。また日本の肌寒い気候に慣れていた私たちにとって、ベトナムの昼間の体育館の暑さは衝撃的でした。しかしこの運動会を通して現地の学生とかなり打ち解けることができ、スポーツの素晴らしさを改めて実感しました。

夜はそれぞれのホームステイ先のパートナーと始めて対面し、みんなでご飯を食べました。「モッ！ハイ！バー！ヨー！」という乾杯の掛け声が至る所から聞こえてきました。その後、ベトナムの伝統的な踊りを大音量の曲に合わせて踊り、大盛り上がりでした。今でも曲とダンスを思い出せるほど印象に残っています。ベトナムにはみんなが小学校などで練習して踊れるようになった伝統的な曲がたくさんあり、日本との差を感じました。2日目にしてベトナムのみんなと仲良くなれて、とても充実した1日を過ごすことができました。(大阪支部 井田萌子)



3月4日 (3日目)

3月4日は海岸野外活動としてダナン外国語大学のみんなと海岸で運動会を行いました。海まではバイクの後ろに各自乗せてもらって向かいました。ベトナムの交通ルールは本当に無茶苦茶で赤ちゃんを抱っこしながら乗る人、家族で4人乗りしている人、見ているこちらが怖くなるくらいでした。バイクに乗るのは初めてだったので初めは少し怖かったけど、スピードも40キロくらいでそんなに速くなくて慣れてくると風を切っている感覚がとても気持ちよかったです。往復で20分ずつくらいの距離だったけどバイクに乗りながらパートナーの子と色々な話が出来たのでとても楽しかったです。あの時間で仲を深めることが出来たからこそ、ホームステイ体験の日は本当に充実した時間になりました。運動会は4グループに分かれてチーム対抗戦で行いました。チーム名はコナン、ドラえもん、ア

ソパンマンと日本のアニメシリーズかと思わせてラスト1つはビーチ(笑)協力プレーでチームの中を深めつつ、どの競技も終始最高の盛り上がりでした。



運動会の後は昼食をしてスイカをデザートにいただきました。そして午後は自由時間の後、ノンラー作りを行いました。思い思いに自分で絵を描いたり、友達にメッセージを書いてもらったりして世界に一つだけのノンラーを作ることができました。1日を通してダナンの夏の暑さ、綺麗な海を大満喫できた一日になりました。(大阪支部 駒田華穂)



3月5日(4日目)

3月5日は、リエンチュウ区の小中学校に訪れて文化交流をしました。早朝出発のため、バインミーというサンドイッチのようなパンと水を持って、バスで朝食を取りました。3チームに分かれ、各チームが午前と午後に1校ずつ、合計で6校を訪れました。当初はフォーマルな服装で訪問する予定でしたが、急遽ベトナムの民族衣装であるアオザイを着ての訪問となりました。外国人が来日して浴衣を着て日本人に文化紹介をしに来るところを想像するとおかしく思えますが、ベトナム人の目には私たちがどのように映ったのでしょうか。

文化交流の主な内容は、けん玉・書道・折り紙・浴衣試着体験でした。ベトナムの子どもたちは、ドラえもんを通してけん玉を知っていました。折り紙も学校の授業で何回か折

ったことがあったそうです。予想以上にベトナムの子どもたちが日本文化を知っていることに驚きました。浴衣の着付け体験は非常に人気でしたが女子しか着ることが出来なかったため、次回からは男子用の浴衣も用意しておくべきだと思いました。子どもたちは本当に純粋で、日本の文化体験を楽しんでくれました。子どもたちからサインを求められ、私たちは有名人気分でした。一生分のサインを書いてきました。しかし、サインの要求が凄まじく中々物事が進まないため、途中からサイン禁止令が出ました。

また、午前と午後訪問の間には海辺にあるカフェに行きました。きれいなところだったため、皆写真を撮るのに夢中でした。

夜には、タンさんがココナッツを買ってきてくれました。(岡山支部 森本涼子)



3月6日(5日目)

3月6日も引き続き、学校訪問をしました。この日はソンチャ区の中学校を、午前中に3校訪問しました。文化交流は昨日同様、けん玉・書道・折り紙・浴衣試着体験でした。想像以上にけん玉の上達が早く驚きました。

この日の午後から、ホームステイ先の子との行動が始まりました。ベトナムの学生は試験や授業で忙しいらしく、当初の予定と変わりホームステイが出来ない人もいました。しかし、ホームステイが出来ない人達もベトナムを観光し楽しむことができました。私はベトナム人3人日本人3人で行動しました。ホームステイ先のペアの子のバイクで、ショッ



ピングモールや綺麗な夜景が見えるところに連れて行ってもらいました。途中で他の人達

と別れて、ペアの子のバイト先の食堂にも連れて行ってもらいました。バイト先の店長やお客さんはベトナム語しか喋れず言葉は通じませんでしたが、温かく迎え入れてくれました。日本人1人になり、日本語も英語もあまり通じなく私がベトナム語を話せるわけでもなく不安になりましたが、ベトナム人の方々がフレンドリーだったため楽しめました。

(岡山支部 森本涼子)

3月7日 (6日目)



6日目は、ホームステイのペアでそれぞれ観光したり、現地の生活を体験したりしました。私たちはペアの子の家にお邪魔し、バインセオというお好み焼きに似た料理を作って食べました。市場と一緒に食材を買いに行ったのですが、市場には日本で見られないような食べ物がたくさんあり、スーパーとは違う新鮮さがありました。バインセオは生地とエビや野菜などの

具材をフライパンに流して焼くだけなので簡単に作れ、とてもおいしかったです。食べ終わった後は、ベトナムにはお昼寝の時間があるので一時間ほどみんなで寝ました。日本人は疲れていたので一時間以上熟睡してしまいました…。

そのあとは、ペアの子のバイクに乗って土器村というところに行きました。名前の通り村のいたるところに土器やおもしろい形の焼き物があふれていて、最近では韓国人や中国人に人気の観光スポットだそうです。そこでは実際に土器の博物館に行き写真を撮ったり、陶芸を体験したりすることができました。人の形であったり、世界遺産のミニチュアがつくられていたり、どれも繊細に作られていて驚きました。

6日目は実際に現地の大学生と共に過ごし、現地の人がいつも使っている市場に行くなどよりベトナム人の日常に近い一日を過ごすことができました。そのような体験をすることで今までは知らなかったベトナムのお昼寝文化も知ることができました。

(岡山支部 吉田有花)



3月8日(7日目)

7日目は、朝早く6時に出発しフエに向かいました。フエではグエン朝王宮、七重の塔があるティエンムー寺など歴史的観光地に行きました。グエン王朝はベトナム最後の王宮がおかれたところで、歴代皇帝の位牌が祀られています。チャンちゃんとニャットさんが分かりやすくガイドをしてくれました。



夜はフェアウェルパーティーをしました。国際女性デーということで、ホテルに40人もの男子大学生が来てくれバラの花を女性1人1人に渡してくれました。バラの花を膝をついて渡している人もいて、日本ではなかなかできない貴重な体験をすることができました。そして、今までお世話になった人たちにお好み焼き、ちらし寿司、焼きそばといった日本料理を作りました。紅ショウガの辛さに驚いているベトナムの子もいましたが、みんなおいしいと言って食べてくれ、久しぶりの日本食はいつも以上においしく感じました。

サプライズで誕生日のいっちーさん、ちーぼうをお祝いしたり、みんなでダンスを踊るなどしてあっという間にフェアウェルパーティーは終わりました。最後にベトナム人をお見送りするときは別れたくないと思うほどでした。

一週間で共に過ごすことで現地の大学生とも日本人とも仲良くなることができました。ベトナム Ex はベトナムの歴史、文化など様々な物に触れることができ、貴重な経験もできた本当に濃い一週間となりました。(岡山支部 吉田有花)



フリーテーマエッセイ

ホームステイ

神戸支部 甲南大学 2 年 前田瑚春

私はホームステイ先の子が言っていた言葉でとても心が温かくなったものがあります。それを聞いたのは夜に彼女のバイクで少し離れた村にある彼女の家に向かっている時でした。道は暗く、すれ違う車やバイクもほとんどないところだったので私はとても不安になっていました。そんな時に彼女は自分の家族について話してくれた後、「私の家はお金はないですけど、とっっっってもあったかい家族です。」「これが一番大事なことです！」と言っていました。私は自分の家族をこんな風に言えるのはとても素敵だなど思いました。そして、これを聞いたときすごく自分の家族に会いたくなりました。普段あまり意識することはなかったけれど、彼女の言ったことは忘れてはいけない大切な事だなど思いました。実際に彼女の家に行くと、彼女の家族は私をほんとうに温かく迎えてくれました。家族の方は日本語も英語も喋れないということだったので言葉は全く通じないという状況でしたが、私をすごく気にかけてくれたり優しい笑顔を向けてくれたりしてほんとうに嬉しかったです。私も自分の家族の温かさを忘れず、温かみのある大人になりたいなと思いました。

ベトナム Ex.に参加して

大阪支部 関西大学 2 年 川嶋ふみ枝

「思ってたのと違った。」私がベトナム Ex.に参加して思ったことを書き出してみると、どのポイントもこの言葉に行き着いた。「思ってたのと違った」というと、ネガティブなイメージかもしれないが、私がベトナムで体験した「思ってたのと違った」は、決してネガティブなものではない。

まず最初の「思ってたのと違った」は、ダナンの街の発展具合だ。ベトナムと聞いて私は、ビルなどの高い建物はほとんどない街を想像していた。しかし実際はそんなことはなく、私の地元滋賀よりも断然ダナンの街のほうが都会であった。また、思っていたよりも綺麗な街並みで、通りを歩けば、3 軒に 2 軒は洒落たカフェだった。22 時を過ぎても、街は明るく、休日には音楽が流れていたりもした。気候も、夏が好きな私にはちょうど良く、ベトナム Ex.が終わる頃にはこの街にこのまま住みたいと思うほどであった。

次の「思ってたのと違った」は、現地大学生との交流である。日本語を勉強している学生と交流することは聞いていた。そこで私が想像していたのは、失礼かもしれないが、みんなカタコトで携帯で辞書を開きながらでないと話が通じないような状況だった。しかし

今回交流をしたダナン外国語大学の 1 年生のみんなは、まだわずか半年程度しか大学で日本語を勉強していないにも関わらず流暢な日本語を話し、私たちが言ったことをすぐに理解してくれて、本当に私が想像していた何倍も日本語が上手だった。みんなたくさん積極的に日本語を話してくれたり、日本のアニメやアイドルの話をしてくれたり、日本のことが好きなのがとてもよく伝わってきた。また、皆すごくフレンドリーで、みんなと知り合う前は、もっとよそよそしい感じでベトナム Ex.が進んでいくのかと思っていたが、全くそんなことはなかった。最後のお別れの時には、たくさんの子とハグをした。他にも、私はベトナム Ex.に参加するまで子供が苦手だった。しかし、現地の小学校に行くと小学生と一緒に日本文化体験をしていると、それまで思ってたよりも断然子供達はかわいいということに気づいた。行く前は少し不安だった文化体験も、今では楽しかった思い出である。

そもそも、今回のベトナム Ex.に参加した動機というのも、そんなに明確ではなく、それまで何のプログラムにも参加しておらず、そろそろ何か参加したいと思っていたところで前回のベトナム Ex.の動画を見て、楽しそうだったからである。元々、そこまでベトナムという国に興味があった訳ではないのだ。しかし、今回ベトナム Ex.に参加して、最終的にはベトナムに住みたい、と思うようになった。子供が苦手だと思っていたけれど、実際は可愛かった。そこで私が思ったのは、興味がない、苦手だと思い込んでいることに少しでも触れてみると、今までとは違った世界の見え方になる、ということだ。また、「思ってたのと違った」数々の体験により、実際にどこかに行ったり、体験してみることで、それまで勝手に自分の中で思い込んでいたことが本当は全然違ったものだったということがわかるのだと知った。私はこのベトナム Ex.が終わってから、こんなことを考えていた。

子供たちの笑顔は全世界共通

岡山支部 ノートルダム清心女子大学 2 年 吉田有花

ベトナム Ex.での小中学校訪問では、2 日間で何校か回って日本文化を教えたりしました。小学校訪問と聞いて、日本では小さい子に読み聞かせをしたことがあり、その時に子供たちと仲良くなれたので楽しみではありました。一方でベトナムの子相手で言葉が伝わらないのにきちんと教えられるのか、仲良くなれるのかなど不安もありました。しかし、実際に小学校へ行くと手を振ったらわーっと騒がれるくらいたくさんの生徒がフレンドリーに迎えてくれました。そんな子供たちの元気な笑顔を見ているといつのまにか不安は消えていました。教室に行き、折り紙や書道を教えるとみんな興味津々になって聞いてくれました。言葉が分からないのでほとんど身振り手振りの教え方でしたが真剣に取り組んでくれ、最後には先生！先生！と言って一緒に作った折り紙に日本語で名前とメッセージを書いてプレゼントしてくれました。それが本当に嬉しくて、学校を何校も回ってへとへとだ

ったけれど疲れが吹き飛びました。

私はベトナムにいる間、日本食が食べたい、コンビニに行きたいなど日本にいる時よりも日本を感じていました。しかし、学校訪問を通して言葉は通じなくても子供たちの笑顔、無邪気さは日本もベトナムも変わらず世界共通なんだと気付くことができました。本当に子供たちの笑顔に癒された学校訪問でした。

ベトナムで感じたこと

名古屋支部 南山大学3年 大川七海

私は3月2日から3月8日の間、ベトナム Ex.04 に参加してきました。この一週間を通してベトナムの文化や歴史、食べ物、ベトナムの人達について多くのことを学びました。美しい景色やお気に入りの食べ物など書きたいことはいろいろありますが、今回はベトナムに行って一番印象に残ったベトナムの人々のコミュニケーションの仕方について書きたいと思います。

ベトナム Ex.では普通の旅行では体験できないくらい多くのベトナムの人達と交流することができました。そこで私が思ったのが、ベトナムの人達は自分から積極的に発言したり、コミュニケーションをとったりすることが多いということです。その点は主体的に発言することの少ない日本人の国民性と異なっていると感じました。実際にベトナムの人達の国民性を身近に肌で感じられたのでとても印象に残っています。

また私はベトナム Ex.を振り返ってみるとたくさんの笑顔を思い出します。ベトナムの人達は毎朝、ニコッと笑顔であいさつをしてくれました。私はベトナムに来るまで、本当のあいさつの大切さに気付いていなかったと思います。幼少期にはあいさつの大切さを唱える絵本を読んだりしましたが、小学校や中学校の時までは人と話すことに緊張して毎朝のあいさつがストレスになっていました。それからあいさつは義務的なもの、という認識が強いままでした。ですがベトナムに来て、あいさつは人と人との距離を急速に縮めるかけがえのないものだということを実感しました。そしてこれからは私も気持ちのこもって、あいさつした相手の気分が良くなる様なあいさつを心掛けようと思いました。

ベトナムの人達のコミュニケーションの仕方を近くで体験できたのはとても良い経験になり、異文化コミュニケーションについて考える良いきっかけとなりました。この貴重な経験をこれからの学習に生かしていきたいと思います。ベトナム Ex.04 に参加できて良かったです。ありがとうございました。

持ち物

- ☐ パスポート、パスポートのコピー
- ☐ 航空チケット
- ☐ 海外保険コピー
- ☐ 参加費 600 米ドル
- ☐ ポケットマネー
- ☐ 日本のお土産（ホストファミリーにプレゼント。大人数にあげられるものが良い。）
- ☐ Ex.T シャツ
- ☐ 浴衣(文化紹介)
- ☐ 水着
- ☐ 文化紹介グッズ（書道セット、けん玉、おりがみ）
- ☐ 洗面用具
- ☐ 洗濯ネット、洗濯用洗剤、ハンガー
- ☐ 常備薬
- ☐ 着替え、寝間着、タオル(洗濯可能)
- ☐ * フェなど、観光地によって宗教上の関係で足が出せない場合があるので長ズボン持つてくと良い。
- ☐ フォーマルな洋服
- ☐ 日焼け止め
- ☐ 汗対策
- ☐ 虫よけ、かゆみ止め
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ポケットティッシュ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 変圧器、プラグ変換器(プラグはなくてもほぼいけました。あったら安心)
- ☐ タコ足・延長コード
- ☐ ドライヤー（変圧器なしに使えないので注意）
- ☐ マスク(バイク乗る時あるといい)
- ☐ 名札（現地で1人1つ配ります）
- ☐ 帽子
- ☐ 雨具（天気が心配なら）



◇報告書係

井田 萌子

森本 涼子

吉田 有花

◇発行元

International Student Association（日本国際学生協会）

◇発刊日 2018 年 5 月 7 日
